

【学校教育目標】

明日に夢をもって生きていこう（陽心）

- ・自ら考え 進んで行く生徒（自主）
- ・健康で たくましい生徒（健康）
- ・感謝の心で 奉仕する生徒（奉仕）

【めざす学校像】

「希望に満ち、一人一人が輝く学校」

- ◇落ち着いた雰囲気の中で
明るく活気に満ちた学校
- ◇教育環境の整備された学校
- ◇生徒や保護者、教職員が
自信と誇りを持てる学校

【めざす生徒像】

「当たり前のことが当たり前ができる生徒」
（凡事徹底）

「小さな努力を積み重ねることができる生徒」
（積小為大）

- ◇主体的に考え適切に表現できる生徒
- ◇粘り強く、最後までやり抜く生徒
- ◇自らを大切にし、
他者を思いやることのできる生徒

【学校経営のスローガン】

温かさと厳しさ、そして夢と感動と潤いのある教育の実践

「自分が好き、仲間が好き、東陽中が好き」

本校のめざす学校は、太陽の陽光のように「希望に満ち、一人一人が輝く学校」である。誰もが何事にも本気で取り組み、達成感を共有し、笑顔で語り合い「自分が好き、仲間が好き、東陽中が好き」と言える学校である。そして、生徒が「明日も学校に行きたい」「東陽中で学んで良かった」と思えるような学校をめざしたい。

生徒には、一人一人が自分の知識を活用し、個の思考を重ねつつ、他者と相互にかかわりながら、自分の考えや集団の考えを発展させていくことで自ら思考・判断し、表現する力を身に付けさせたい。また、志を強くもち、粘り強く最後まで努力し、自分の役割や責任を果たすことで自己肯定感を育んでいきたい。さらに、自分を大切にすると同時に他者も大切にすることを育み、いじめや暴力を否定できる心の醸成を図りたい。目指すところは、教育目標にある「自主」「健康」「奉仕」が身に付いた生徒である。

各種教育活動の実施に当たっては、教職員一人一人が力を最大限に発揮して、生徒のために協働して取り組むこと。学年、学級経営をはじめ、学校行事においては、具体的なめざす生徒像を描いて計画を立て、安全対策を施した上で実施すること。また、「陽出する学校」として東陽ブロック小中一貫教育の取組をはじめ、地域貢献活動にも力を入れてもらいたい。

＜重点スローガン＞

- ・笑顔あふれる明るいあいさつをしよう。
- ・授業に真剣に取り組み「わかった、できた」という達成感を味わおう。
- ・仲間と一緒にいると楽しいと感じられる人間関係をつくろう。

＜具現化策＞

◆マネジメントの充実

(1) 各部の経営ビジョン

- ・ 各部の経営ビジョンを明確にして本校の特色を生かした年間マネジメントを作成し、PDCAサイクルのもとで経営改善を図る。
- ・ 学校評価結果を参考にして、より具体的な成果指標（数値目標を含む）を掲げる。
- ・ 本校独自の月目標を生徒自身に自覚させて生活するように指導すること。

◆学習指導の充実・学力の向上【知（自主）】

(1) 学業指導の推進「生徒の考えをつなぎ、集団で学ぶよさを生かした授業づくり」

- 学業指導（「学びに向かう集団づくり」と「意欲的に取り組む授業づくり」）を意識した授業を実践する。＝ 安心して学べる学級集団づくりに努める。
 - ・ 始業終業のあいさつ、返事、発言、2分前着席。
 - ・ 家庭学習の習慣化 → 家庭での自主学習に本気で取り組ませる。
 - ・ 始業前は、落ち着いた雰囲気の状態を保つ。

(2) 授業力の向上

- ・ 「とちすけの学び」の実践
- ねらいの明確化と振り返りの充実
 - ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の向上
 - ・ 学校課題を意識した研究授業を実施する。（教科部会の充実）

(3) 「主体的・対話的で深い学び」を意識した体験的な学習や課題解決的な学習の重視

- ・ 深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることを重視する。
- ・ ICTの効果的な活用（GIGAスクール構想の推進）

◆生徒指導・道徳教育【徳（奉仕）】

(1) 「生徒による学校づくりの指針」に基づく生徒指導「陽心」の生徒心得を徹底

- 社会・学校のルールが守れる学校 ○きれいな学校 ○明るいあいさつが飛び交う学校
 - ・ 「だめなものはだめ」「ならぬことはならぬ」と、毅然とした態度で指導する。
小さなことでも決して見逃さず、その場でしっかり指導する。（規範意識）
（くつや上履きのかかと、服装、言葉遣い、履き物をそろえるなど）
 - ・ だめならできるまで指導する。いい加減に妥協しない。

(2) 生徒理解の深化

- 生徒の話を傾聴し、理解した上で指導・支援をすること。
 - ・ 生徒の自尊心を傷つけない指導。教師の言動、言葉遣いに注意。
 - ・ 教育相談の充実（QUTテストを学級経営に生かす）を図り、生徒の悩みや問題の早期発見に努める。
 - ・ 全教育活動を通じて生徒一人一人を生かす場の設定と工夫に努める。

(3) いじめ・不登校の未然防止

- 校内カンファレンスを構築し、具体策を共有する。いじめは絶対に許さないという姿勢を示す。不登校傾向生徒への対応を早期に実施する。
 - ・ 市適応指導教室や各種関係機関との行動連携。校内適応指導教室の活用。
 - ・ 保護者との連絡を密にし、協力体制を確立する。

(4) 山本有三の精神「生命・人権・絆」の浸透

- 道徳科の授業を中核に据えた「心の教育」の実践
 - ・ 人権意識を高める研修の充実
 - ・ 人権集会、人権週間の充実を図る。

◆健康体力【体（健康）】

（１）望ましい生活習慣の育成

- ・ 自他の健康安全を考え、自己管理能力を身につける。
- 感染症の予防対策等、健康の保持増進を図る。
- ・ 運動量の確保（授業・外遊び）を積極的に推進する。
- ・ 「早寝・早起き・朝ご飯」の実践
- ・ 部活動の円滑な運営。栃木市版「部活動ガイドライン」の順守

（２）安全教育の徹底

- 常に危機意識をもち、自らの命を守るために主体的に行動する態度を育成する。
- ・ 交通ルールの遵守
- ・ 自問清掃を重視し、美しい学校づくりに努める。

◆特別活動

（１）生徒会活動、学校行事、学級活動のさらなる活性化

- 学校・学級のリーダーをはじめ、生徒が様々な教育活動に本気で取り組めるように指導する。（生徒の活躍の場をつくる＝自己有用感、達成感）
- ・ 一人一人の絆を深める学級経営に力を入れる。（帰属意識）
- ・ 教育的愛情に立った、教師と生徒の人間関係づくりに努力する。

（２）キャリア教育の充実

- ・ 進路学習を系統的に位置づけ、学年の発達段階を踏まえた様々な教育活動を実施する。その際、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育に努める。
- ・ 保護者への啓発活動に力を入れて実施する。（授業参観、各種たよりなど）

（３）ボランティア、福祉教育の充実

- ・ アルミ缶回収、リサイクル品回収の収益金の還元、地域施設への訪問・奉仕
- ・ 外部機関(福祉協議会等)との連携。

◆家庭・地域との連携

（１）家庭との連携、開かれた学校づくり

- 保護者の願いや思いに寄り添った指導を心がける。
- ・ 学校の情報を学校ＨＰ、学校だより、学年・学級だより等で知らせる。
- ・ 家族団らんの日の推進。毎月１４日を「トウヨウの日」と位置付け、家庭の協力を得て実践する。

（２）地域との連携

- ・ 小中一貫教育の推進
- ・ とちぎ未来アシストネットを活用した教育活動を展開する。
- ・ 学校運営協議会を充実させ、魅力あるコミュニティスクールを実践する。

◆その他の重点

（１）特別支援教育の充実

- 一人一人の教育的ニーズに応じた支援体制の整備・充実
（特別支援教育コーディネーターの役割が重要）

（２）危機管理体制の確立

- ・ 危機管理に関する研修機会を充実させ、教職員の危機意識の向上・維持に努める。
- ・ 不審者や生徒の行為により生徒や教職員の生命が脅かされた場合は、すぐにその場から退避し、関係機関に通報する。

（３）部活動の意義の再認識と地域移行へ向けた課題の整理を進める。

【先生方に特にお願いしたいこと】

1. 働き方改革の趣旨を理解し、互いに協力し合いながら、効率よく仕事を進める。
働き方の改善に向けた3つの取組（放課後の生徒対応、留守番電話の設置・運用、月1回の定時退勤等）の推進
 2. 部活動の指導については、ガイドラインの趣旨を理解して経営方針と計画を作成し、校長の承認を得ること。（休養日の設定や活動時間などに配慮すること）
 3. 明るく元気なあいさつを実践する。職員同士、生徒へ、来校者等。
 4. 報告・連絡・相談・記録（ホウレンソウ）を徹底すること。その際、教頭に情報が集まるようにする。関係者で相談し指示を受けること。
相談者→ 学年主任→（指導部長）→ 主幹教諭→ 教頭→ 校長
 5. 危機管理の「さしすせそ」・危機意識をしっかりとつこと。

【さ】最悪を想う【し】慎重に【す】素早く【せ】誠意をもつ【そ】組織で対応する。
特に、電話など顔の見えない相手に対しては誠意をもって話をよく聴くこと（傾聴）。

＊自分の言動に責任をもって行動する。特に、教育公務員という高い倫理観をもって職務に専念し、コンプライアンスチェックの結果を真摯に受け止め、自らの言動等を振り返り、改善に努める。生徒に接するときと同様に、受容的な態度で接すること。
 6. 年休や出張、出張復命などは直接校長・教頭に声をかけること。
 7. 学年で対応することが多いので、チームワークを大切にすること。
 8. 校舎内の施錠、鍵の管理をしっかりと行う。鍵は生徒に貸さないこと。
- ☆ 生徒あつての教職員ということを忘れず、実践・行動すること。

とちぎの求める教師像
～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～
人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力をもった教師
教育的愛情と使命感をもった教師